

- すべてのデータベース操作のコストは Azure Cosmos DB によって正規化され、**要求ユニット (RU)** によって表されます。
- 1KB の項目をポイント読み取りする (つまり、ID とパーティション キーの値で 1 つの項目をフェッチする) コストは、1 要求ユニット (または 1 RU) です。
- その他のすべてのデータベース操作にも、同様に RU を使用してコストが割り当てられます。

- 各操作で消費したRUの調べ方：データベース操作によって消費される RU の数を追跡するには、**応答ヘッダー**を調べます。

- 複数のリージョンに分散したDBの場合：Cosmos コンテナ（またはデータベース）でプロビジョニングされた RU は、**Cosmos アカウントに関連付けられているすべてのリージョンでプロビジョニング**（利用）されます。

# RUの割り当て

## • プロビジョニング スループット モード:

- アプリケーションの RU の数は秒単位でプロビジョニングします。いつでも RU の値を増やしたり減らしたりできます。
- アカウント以下にDBを作成する際に、DBに対して、400～100,000の間で指定(100 RU 単位で増減可能)


## • 自動スケーリング モード:

- ワークロードの可用性、待機時間、スループット、またはパフォーマンスに影響を与えずに、使用量に基づいてデータベースまたはコンテナのスループット (RU/秒) が自動的にかつ瞬時にスケーリングされます。
- **アカウント作成時に「容量モードで「プロビジョニングされたスループット」を選択する。コンテナを作成する際に、コンテナで使用するRUの最大値を指定する。**

## • サーバーレス モード:

- Azure Cosmos アカウントでリソースを作成するときに、**スループットをプロビジョニングする必要はありません**。請求期間が終了すると、データベース操作で使用した要求ユニットの量に対して課金されます。**地理的分散（マルチリージョン）が使えない、コンテナあたり最大ストレージが50GBまでなど、機能に若干制限がある。**

### Azure Cosmos DB アカウントの作成 ...

 期間限定で、任意のリージョンでマルチリージョン書き込みを行う新しい Azure Cosmos DB アカウントを作成すると、アカウント用されます。\*

#### インスタンスの詳細

アカウント名 \*

yamadacosomos

API \* ①

コア (SQL)

場所 \*

(Asia Pacific) 東日本

容量モード ①

**プロビジョニングされたスループット** サーバーレス (プレビュー)

[容量モードに関する詳細情報](#)

[Azure Cosmos DB におけるスループットとパフォーマンスの通貨としての要求ユニット | Microsoft Docs](#)

[Azure Cosmos DB でプロビジョニングされたスループットとサーバーレスのどちらかを選択する方法 | Microsoft Docs](#)

# プロビジョニングスループットモードでのスループットの割り当て

## • データベース

- Azure Cosmos データベースでスループットをプロビジョニングすると、スループットはデータベースのすべてのコンテナ (共有データベース コンテナと呼ばれます) で共有されます。

## • コンテナ

- Azure Cosmos コンテナに対してプロビジョニングされたスループットは、そのコンテナ専用に予約されます。コンテナは、常にプロビジョニング済みスループットを受け取ります。
- コンテナに対してプロビジョニングされたスループットは、物理パーティション間に均等に分散されます。
- 論理パーティションで実行されているワークロードの消費量が、基になる物理パーティションに割り当てられているスループットより多い場合、ユーザーの操作がレート制限される可能性があります。

### New Database



The free tier discount of 400 RU/s has already been applied to a database or container in this account. Billing will apply to this database after it is created.

[Learn more](#)

\* Database id ⓘ

Type a new database id

☒ Provision throughput ⓘ

\* Throughput (400 - 100,000 RU/s) ⓘ

Estimate your required throughput with [capacity calculator](#)

400

### Add Container

☒ Provision dedicated throughput for this container ⓘ

\* Throughput (400 - 100,000 RU/s) ⓘ

☐ Autoscale ☒ Manual

Estimate your required throughput with [capacity calculator](#)

400

Cosmos DBアカウント1

容量モード:**プロビジョニングされたスループット**

データベース1  
スループット:  
**指定しない**

コンテナー1  
マニュアル  
400 RU

コンテナー2  
オートスケール  
(Min: 400 RU)  
Max: 4000 RU

※このDBではスループットを  
指定しないコンテナは作れない  
※オートスケールのMinは400固定、  
Maxは4000以上を設定可能

RUコスト :  
800 ~ 4400

Cosmos DBアカウント2

容量モード:**プロビジョニングされたスループット**

※コンテナー3と4で  
DBの400 RUをシェアする

データベース2  
スループット:  
**400 RU**

コンテナー1  
マニュアル  
400 RU

コンテナー2  
オートスケール  
(Min: 400 RU)  
Max: 4000 RU

コンテナー3  
指定しない

コンテナー4  
指定しない

RUコスト :  
1200 ~ 4800

Cosmos DBアカウント3

容量モード:**サーバーレス**

データベース3  
スループット  
**指定できない**

コンテナー1  
スループット:  
**指定できない**

コンテナー2  
スループット:  
**指定できない**

RUコスト :  
0 RU ~